# 4 その他

### 4-1 学位取得者

称 号	取得大学	論文題目	氏	名	取得年月日
農学博士	九州大学	Identification and specific detection of basidiomycetes by molecular biological methods	須原	弘登	平成15年 6月30日
農学博士	九州大学	高温低湿乾燥法におけるスギ心持ち柱材の乾燥性に 関する研究	小田	久人	平成18年 3月27日
農学博士	京都大学	ラグスクリューボルトの耐力発現機構の解明と木質 ラーメン構造への応用に関する研究	中谷	誠	平成18年 5月23日
農学博士	九州大学	スギ厚板の構造的利用、とくに合わせ梁と集成材への応用に関する研究	田中	洋	平成21年 3月24日
農学博士	九州大学	ホットプレスによるスギ心持ち柱材の表面割れ抑制 処理に関する研究	松元	明弘	平成24年 3月27日

### 4-2 表彰者

受賞年月	賞の名称	受賞者名	授与機関名	受賞内容
H14.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	木材利用技術センター の設立功績及び技術指 導実績
H16.2.5	全国林業試験研究 機関協議会研究功 労賞	荒武 志朗	全国林業試験研究機関協議会	スギの材質推定と長期耐力評価に関する研究
H16.2.21	日本木材学会地域 学術振興賞	荒武 志朗	日本木材学会	スギの材質推定と長期 耐力評価に関する宮崎 県地域における学術発 展と研究成果の普及
H16.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	県産スギ集成材を使用 した木の花ドームの建 設
H18.10.8	日本木材学会九州支部黎明研究者賞	森田 秀樹	日本木材学会 九州支部	丸太選別及び木取りに よる構造用集成材スギ ラミナの歩留り向上 (第2報)
H20.2.7	全国林業試験研究 機関協議会研究功 労賞	小田 久人	全国林業試験研究機関協議会	九州産スギ材の材質と 心持ち柱材の乾燥性に 関する研究
H20.7.4	宮崎県知事表彰	小田 久人	宮崎県	高温乾燥法によるスギ 心持ち柱材の乾燥性に 関する研究による博士 学位取得等
H23.2.5	土木学会デザイン 賞 2010 最優秀賞	木材利用技術センター	土木学会	堀川運河の「夢見橋」 構造検討・設計協力並 びにボードデッキ設計 協力
H23.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	スギとヒノキを用いた 構造用異樹種集成材の 開発
H27.7.1	宮崎県知事表彰	木材利用技術センター	宮崎県	綾中学校校舎の建築に 係る技術支援
H28.3.29	日本木材学会地域 学術振興賞	小田 久人	日本木材学会	南九州における地域材 利用技術の開発と木材 産業への貢献

## 4-2 表彰者(つづき)

受賞年月	賞の名称	受賞者名	授与機関名	受賞内容
H28.3.29	第 66 回 日本木材学会大会 優秀ポスター賞	堂籠究·須原弘登	(一社)日本木材学会	スギエダタケを用 いたスギ成分の生 物変換
H29.3.24	宮崎県総務部長賞	木材利用技術センター	宮崎県	県庁本館における 木質化の取組
H29.7.1	宮崎県環境森林部 長賞	木材利用技術センター	宮崎県	本県公共建築物の 木造率の向上及び 県産材の利用促進
H29.9.29	「科研費」審査委員表彰	荒武志朗	独立行政法人日本学術振興会	公平・公正な審査への貢献
H30.3.16	第 68 回 日本木材学会大会 優秀ポスター賞	須原弘登 他5名	(一社)日本木材学会	未利用木質資源の 半炭化処理による 利用法
R03.11.19	日本木材学会九州 支部黎明研究者賞	川元悠太朗	日本木材学会 九州支部	MLT(Miyazaki Laminated Timber)を用いた耐 力壁の開発
R04.3.15	第 31 回 日本木材学会地域 学術振興賞	中谷 誠	日本木材学会	中・大規模木造建築 物接合部の研究成 果に基づいた宮崎 県の非住宅建築物 の木造化への貢献

### 4-3 客員研究員

研究体制の充実強化及び研究員の資質の向上を図るため、第一線で活躍している研究者を招へいする客員研究員制度を実施している。併せて、客員研究員による県内企業への技術指導を実施している。

氏 名	所 属・役 職	専攻分野	期間	研究実施内容
岡本滋文	大阪市立大学大学院 講師	木質構造学	R04.8.29 ~30	有効梁の耐力に関する研究
有馬孝禮	東京大学 名誉教授	木質材料学	R04.10.5 $\sim$ 10.7 R05.3.27 $\sim$ 3.28	研究内容指導
青木良篤	ナイス株式会社 資材事業本部首都圏木 材ブロック長兼木材開 発部長	I	R05.1.26	成果報告会講演 「環境変化に対応した国産材の 需要創造に向けたサプライチェ ーン構築の取り組み」
荒武志朗	(元職)木材利用技術センター	木質材料学	R05.1.17 ~18	大径材技術開発に関する講演会 研究内容指導
石川敦子	国立研究開発法人 森林研究·整備機構 森林総合研究所 木材改質研究領域長	木材保存学	R05.1.17 ~18	木材塗装研修会 「木材の気象劣化と塗装」

# 4-4 視察者

### (1) 視察者

(単位:人)

年 度	件数	人数
R04	97	1,399

※視察者とは見学者を含む

#### (2) 視察者内訳(令和4年度)

(単位:人)

視察日	視察者・団体名(25 人以上)	視察者数
R4. 5.27	都城市立上長飯小学校	121
R4. 6.16	南九州大学人間発達学部	61
R4 .6.29	認定こども園 天竜幼稚園	37
R4. 7.29	東小ひいらぎ3室児童クラブ	30
R4. 8. 2	らいおんキッズクラブ	54
R4. 8. 4	フォルケホイスコーレ児童クラブ早鈴・若葉	41
R4. 8. 5	東小ひいらぎ1室児童クラブ	27
R4. 8.10	さくらキッズ児童クラブ	34
R4.10.13	宮崎県立高城高等学校	76
R4.10.20	認定こども園 天竜保育園	27
R4.10.25	宮崎県立宮崎工業高等学校インテリア科	30
R4.11. 2	宮崎県立都城工業高等学校インテリア科	40
R4.11. 4	都城市立安久小学校	54
R4.11. 8	高齢者国富大学(深年·北俣学級)	32
R4.11.10	高原町立後川内小学校	29
R4.11.14	都城市立石山幼稚園	36
R4.12.27	一般社団法人 日本ウッドデザイン協会	31
	25 人以上計	<b>862</b> (※研修生を含む))
	25 人未満計	537
	合 計	1,399

(参考) 外部資金等一覧

受託事業一覧表

単位(千円・件)

大記す子 25% 数託者	研究課題	実施期間 H13	H13	H14	H15	Н16	H17 H1	H18 H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	Н29 Н	H30 R01	11 R02	R03	R04	÷a	$\Box$
マろ木材での家心へいも揺車拳	地域型長期耐用住宅(シロアリ、台風、高温多湿地域型)における地	I	4 000	2 200	_		_													+-	_	1	11 600	0
	域材利用技術の調査・护咒 (任木七ノター) + ++ 鰡ロ キ 今 をおおっこ 2 1 ハー の智 店					000	+	+																
版件小性即先同及几串来地球環境研究総合推進費	木枚 装品券 いひ界がによるヘドック重めず間木材利用部門における炭素貯蔵量評価モデルの開発	H15 ~ H18			1,470	1,633	1,635	1,567	_										-	+	1		4,000	Ω C
	木製道路施設の耐久設計・維持管理指針策定のための技術開発	H16 ~ H20					-	.200 1,200	000'1	0													6,850	0
文部科学省都市工リア 産学官連携推進事業	バイオマスの高度徹底利用による環境調和型産業の創出	H16 ~ H18				3,758	3,339 3,	3,339															10,436	9
交付金プロェル	スギ等地域材を用いた構造用新材料の開発と評価	H17 ~ H19					2,500 2.	2,500 2,000	00								$\forall$			H			7,000	9
	樹皮焼却灰の肥効成分を活用した環境コンクリート製品の開発 新しい木材乾燥システムによる低コスト化有用成分の回収	H18 ~ H19 T21 H21						168 105	73 26.946	29.400													273	6 6
服杯水産中光高度化等業になる大学の大学の一個では、	(中核機関:県木材利用技術センター)			1	$\dagger$	$\dagger$	+	+						T		T	$\dagger$	+	1	+	1			
ス事業	伝統的木造住宅等の接合部性能評価		İ		1	1		2,305		0													2,935	D.
地域資源活用型研究開発事業新たな農林水産政策を推進する実用技	宮崎県産オピスギ材の乾燥凝縮液を有効活用した製品開発 輸出ニーズに適応した建築物向け国産材インフィル部材の技術開発				$\dagger$	+	+	1,051	51 456	9	0												1,507	
術開発事業	(中核機関: 県木材利用技術センター)	H22			$\dagger$	$\dagger$	+	+	_		32,900	27,300	32,100				1	1	+	+	_		26	2 1
日本に「脳形	CL1主不利用試験	R03 ~ R07	4	000										•	٥	c	c	-	•	-	330			0 4
	21 14-24-		4,000	2,200	0/0'/	- 64. - L	8,624 8,	8,774 34,434	29,032	29,400	32,900	27.300	32,100	5 0	5 0	5 0	<b>5</b>	5 0	<b>-</b>	5 0	200	nec ·	228,205	Ω
	<b>计</b> 数				2	n	4	0	٥	+			=	5	>	>	>	>	5	5	D .		( 訓	7
科学技術研究費補助金一員	K.																					**	単位(千円・件)	~
研究種目名 研究	研究課題	実施期間	H13	H14	H15	н16 н	H17 H1	H18 H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	н29 н	H30 R01	11 R02	R03	R04	₩	
	シロアリの本能・生理を利用した環境配慮型防蟻処理技術の開発	H17 ~ H19			1			1,100 700	00											_			3,500	0
基盤研究C	環境条件変動下での柱-土台接合部のめり込みクリープ特性の解明   H17 ~ H18	H17 ~ H18					2,000	800															2,800	0
国崎大学分任研究	地球温暖化防止における木材の循環利用に関する環境教育プログラムの実験研究	H19 ~ H20						300	273	8													573	က
萌芽研究	塩化ナトリウム(食塩)を用いたシロアリ防除	H20 ~ H21		İ	T	ŀ		L	1,800	0 820											L		2,62	0
静岡大学分任研究	屋外暴露試験を基礎とした木質パネルの耐久性能評価に関する研究	H21 ~ H22						L		494	754												1,248	φ
基盤研究C	スギ低樹高部から得られる平角材の力学的性能向上と梁部材への 熱量め適用に闘士を研究	H22 ~ H24									2,600	1,040	800										4,440	Ó
2 年 世 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	<b>分来時間に対する呼光 木質軟体でを再利用した水酔アパタイト値会材の間条</b>	H 2 H 2 H 2 H		T	$\dagger$	-	-	$\frac{1}{1}$				1 690	1 430	l			l						3 120	C
8.	コンストリューボルトのクロス挿入接合法の開発	H23 ~ H25										1,560		1,560									4,420	0
	リグニン選択的分解能を有する担子菌をもちいたタケ材からのバイオ	H24 ~ H25												1 820									4 680	C
	エタノール 生産ホーナンコン なんかん 同語学 stort のこれ・十 出格士 生物 然加ニナンコン				$\dagger$	$\dagger$	$\frac{1}{1}$	+										1	Ç.	0	0		0.17	
	T AMMEN TO AMME THE THOUSE WITHOUTH THE AMMEN THE THE THE THE THE THE THE THE THE THE				t	-		-																9
泰班研究A	の提案	K03 ~ K07																			069	069		2
基盤研究B	中高層木造建築物におけるモーメント抵抗型柱脚接合部の耐震設計 法の確立	R03 ~ R05																			195	195	390	0
基盤研究C	糸状菌由来遺伝子組み換え酵母により生産されるテルペンを用いた 抗蟻牲物質の探索	R04 ~ R06																				1,430	1,430	0.
基盤研究C	木達接合部における木材側の耐力発現に係わるせん断、割裂、支圧 強度の長期性能の解明	R04 ~ R06																				1,560	1,560	0.
	+8		0	0	0	0	3,700	1,900 1,000	2,073	3 1,314	3,354	4,290	6,390	3,380	0	0	0	0	1,170	9 059	650 845	5 3,835	34,551	Ξ
	件数		0	0	0	0	2	2	2	2	2	3	4	2	0	0	0	0	-	-	-		4 延べ14	4
神唱一争击群马辈马办																						***	無付( 十日・年)	-
事業名	研究課題	実施期間 H13	H13	41H	H15	Н16 Н	H17 H18	8 H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	Н29	H30 R01	11 R02	R03	R04	₽	
林野庁補助事業 非住宅建築分野へ の地域材利用推進事業	大規模木造非住宅横架材スパン事例集、汎用金物の開発	H23										14,175											14,175	D.
	木材乾燥及び炭生産時に発生する油脂・タール類の効果的活用に 関する研究	H25 ~ H28					-								2,000	1,500	200						4,000	0
環境リサイクル技術開発・事業化支援 事業(可能性調查)	廃プラ及び剪定草木を原料とした高発熱量固形燃料等の開発可能 性調本	H27 ~ H28														359	178						537	7
	廃プラ及び半炭化剪定草木を用いた高発熱固形燃料の試作及びコスト試算と市場性調査	H28 ~ H29															119	448					267	1
	宮崎県産スギを用いた新たなCLTの開発	H27														17,959							17,959	6
革新的技術開発・緊急展開事業(うち先) 連プロジェカト)	要求性能に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から 建築部材の途度を多割する技術の開発	H28 ~ R02						_									1,830	3,122	10,633 2,	2,389 3,090	06		21,064	4
環境インベーション支援事業	AAK おおおお スカン・アン・ストル・アルン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	H30 ~ R01			l														337				337	7
	に至れび開充。JRGIEMIA 廃業プラスチックおよび廃棄木材等を利用した再生ボードの開発可 機械調査	R01 ~ R02			t		-													281 4	462		743	က
	16.11.2001年 18十		0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,175	0	0	2,000	19,818	2,627	3,570	10,970 2.	Ľ	52	0	0 59,382	2
	4数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	3	4	7	2	2	2	0	0 頃べ8	00
									_						_	_		_	_		-			1
外部資金導入合計			H	41H	H 12	1 1	H17 H18	α σΕΠ	H	H 21	H 22	H 23	H24	H 25	90 H	H27	H28	н 66н	H30 R01	1 B02	B03	₩ B04	単位(千円・件)	□
金額 計			4,000	2,200	-	_	4	-						3,380	-	19,818	-		_	8	2			∞
件数 計			-	-										8		6				60	8		(単人34	4
				1		-	-								-		-			-	-	-		1

	10   10   10   10   10   10   10   10
Manufaction of the property of the control of the	Note that the party of the pa
Note that the content of the conte	Figure 1979   Figure 1979
Manual profit   Manual profi	Manufacture   Manufacture
STATES   Control   Contr	
Ref.	Particle   Particle
Mainter and the control of the con	March   Marc
Maintained bases and participation of the company	New   Control and Associated Processing State   Control and Associated
A Company of the Co	Comparison   Com
The contract   Contr	Company and comp
Main and contain	Note the presentation of
No 1	Note   Continue and the Continue and t
Miles	Note   Control Contr
Main - Configuration   Main	Note   Continue to the conti
Section Continues to the Continues of	STATE CONTINUES NOT CONTINUE
Registry Control Con	STATE CONTINUE NATIONAL PROPERTY   STATE CONTINUE
Comparison	Comparison of the Comparison
A continue and the second co	Column   C
The control of the	Colore   C
A Company of Processing Continues (Continues of Processing Continues (Continues of Processing Continues (Continues of Processing Continues (Continues of Processing Continues of Processing Continues (Continues of Processing Continues of Processing Continues of Processing Continues of Processing Continues (Continues of Processing Continues	Company   Comp
The control of the	Fig. 1999   Fig.
A	A Company of the co
### 12 - CANDEL AND PROVIDED BY A CANDEL AND	
No. 10.000   Column	Participation   Participatio
The Control of Contr	Comparison   Com
A CHILLING PACE AND AND AND AND AND AND AND AND AND AND	MENTANGENCE CANADA CA
	The Control of the
1997   1997	Control of the cont
10. C. L. C. A. C. M. C. A.	
### 1998 ### 1998 ### 1998 ### 1998 ### 1999 ### 1990	Fig. 10   Fig. 12   Fig.
	Figure   F
大学製造の登録を対している。	A CAMPAN CANADA CANAD
A Company of Manual Activity (A PACA POTA PS - OR RAMILES FOR PACA PS -	A Company of the Co
SWM 現代 大手 (A Part Of Med Biller) (A Part	National Section 1982   Section 19
20mm	Registration of Control of Co
Application of the Company of th	A
	A CAPE AND TRANSPERS AND TRA
A T	1
20mm (	
保存処理による性の性性に関する研究   R29 ~   R20 ~	200   10   10   10   10   10   10   10
株式	1997-277-474-00-14程度後日という呼音に関する研究   1900
## 提供と基本のも大阪リル上を終り即年級又付離免用機が対達に関する研究 H30 ~ R01	#提出と対すのた状態が1.20mg (14 6 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
##性化心能性能及の機能に関する研究   1430	###においた場所を必要がある。
A 文本の機能表現を表現的した原料を含む「開催」を研究   HSO ~ RO1	大学の機能表現を記している。
株成 株成 株 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	特別
180	<u>2047の19-74年に関する研究</u> 1950 ~
1800 ~   1800 ~	25mg Agg Agg Agg Agg Agg Agg Agg Agg Agg A
1/ネルリーンのサイルMinistration   100	1/4×1/2→2の世代の経過に関する研究   RO1
	VC47-XOX-MACK-REMIN-LORDAR-ERFORMS   ROI - ROG   ROI - ROG   R
PA Vivia Ya O. D. Vivia Table 1. 2 を	Yet Yard Yard Yard Yard Yard Yard Yard Yard
19	Part   Part
株式 別ナンロームのロボーオキングー 七直伝子 根力 株式 酵母により4年 RO2 ~ RO4 産されたプレイバを用いたは機がの配置。 RO3 ~ RO4 アルギブールから、施度に催化されたジャルペン類・の変換 RO3 ~ RO4 木材の乾燥 配線が1.58 皮が上が生からの3機体能に及ぼす影響 RO3 ~ RO4 木質 があり 表現 株内 部 における解説 相談に関する研究 RO3 ~ RO4 ~ 和を有する無成は梁 の耐力に関する研究 RO3 ~ RO4 ~ 照存する無単本 化生のかられたは アルドル 原端性 解解 RO4 ~ RO4 ~ 関係する機能を指してあいまれた RO4 を研究 RO5 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 ~ RO4 PORTAN WERTER FOR ROM ROTA ROTA ROTA ROTA PORTAN WERTER FOR ROTAN WERTER FOR ROTA PORTAN WERTER FOR ROTA PORTAN WERTER FOR ROTA PORTAN WERTER FOR ROTAN WERTER FOR R	業が要がとの他の上の40年をディンチャンチャーで選出子組み取扱時により手を受します。
A. Lu が L. Lu から施度に指化されたジナルの支援への変換 RO3 ~ メポリの発送の報が1. La 1. L	ACALVE ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL AL
本材の砂塊の機能へは1882がAが中に803単程能へ201平影響 PO3 ~ RO4 木質材の可能を開催に597を高限が開催に関する研究 PO3 ~ RO4 ~ 刊を有する単成が展の限力に関する研究 RO4 ~ RO4 ~ 解析する機能が最近他でから担かは一下、整備を開催を開催。 RO4 ~ 附属する機能が発生のから担かに発酵が整備を	### A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA O FA B A FA B A FA B A FA B A FA B A FA B A FA B A FA B A FA B A FA B A FA B B B A FA B B B A FA B B B B
不質材の引機器を開こおける酸製排機に関する研究   RO3 ~   RO4 を	不質材の引張を翻に言ける解析機に関する研究 RO3 ~   現在する機能材態の能力に関する研究 RO4 ~   既存する機能が進生をPowertack 用いた制度性能評価 RO4 ~   期面加工後用途接上た水材片の野外傷器指摘・正を確認する。 RO4 ~   期面加工後用途接上大水材片の野外傷器指摘・正を確認する。 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 12 14 17 10 8 7 13 9 14 14 15 15 18
1.6.4.4.9 る歌成分家の野刀二国9 る時から 1.6.4.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2	14.24 1 2 m. W. A M. M. M. M. M. M. M. M. M. M. M. M. M.
お田村丁谷田舎は、大女子の野外帰郷は際による後は在熊郎庙 DOA ~	### 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1
名国/四十枚 中斜微 ついくを てり 訳を特 寝 引散 1 子 同 計画 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
0 0 0 0 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0	
計においては母別課題をである	計 ( ) / 計画教育 (
表 <b>形:集母研究体表 合計</b>	H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H26 H27 H28 H28 H28 H28